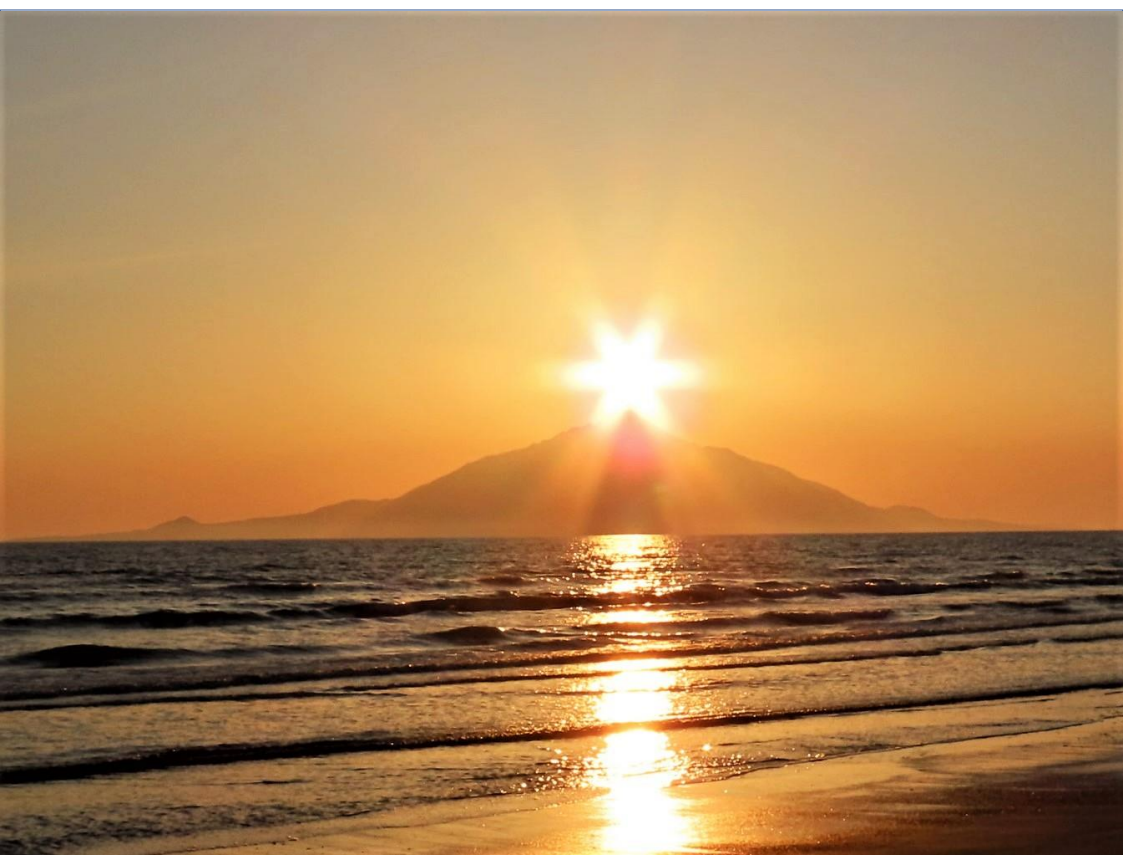




眩しく煌めく北のシンボル

季節や撮影地点によって様々な表情を見せる利尻山ですが、対岸の稚咲内海岸では4月や8月に山頂と夕日が重なる瞬間を見ることができ、ため“ダイヤモンド利尻富士”の撮影に挑む写真愛好家の姿を見かけます。写真は、この春に初めて撮影を試みた1枚で、綺麗なダイヤモンドにはなりませんが、煌めく星を冠した利尻山の姿が収まっていました。

撮影地：稚咲内海岸（豊富町）

利尻島

幻想的な霧のいたずら

花の浮島・礼文島は彩りの季節を迎えています。この時期は海から立ち上る深い霧に覆われる日が多く、高山植物に恵みの水をもたらし、礼文島らしい幻想的な景色が創り出されます。標高200mを超える桃岩展望台は霧の雲海を望む絶景スポットで、早朝に訪れたこの日も、真っ白な風景と驚くほど鮮明な風景がめまぐるしく入れ替わり、礼文島の霧を感じる瞬間が続きました。

撮影地：桃岩展望台（礼文町）

礼文島



姿を現した幻の白い鹿

ここ数年、「サロベツで白い鹿を見た」という情報が地域で話題になっています。その姿を見たことはありませんでしたが、ある日の巡視中、数頭の群れの中に一頭の白いエゾシカを偶然見つけ、その白い神秘的な姿を収めようと、夢中でシャッターを切りました。僅か数分の出会いでしたが、雄大で奥深いこのサロベツの自然に、ますます惹かれていく瞬間となりました。

撮影地：道道106号線（豊富町～稚内市）

サロベツ



北海道地方環境事務所では北海道の国立公園などで、活躍するアクティブレジャーの活動を紹介する「アクティブレジャー日記」も配信しています。左のQRコードからご覧ください。



「国立公園たより」とは、日本最北の国立公園利尻礼文サロベツ国立公園で働く環境省のスタッフが季節ごとのとっておきを皆様にお届けする広報誌です。

※バックナンバーは左のQRコードからご覧になれます。

発行：環境省稚内自然保護官事務所